



1

アンケートの概要

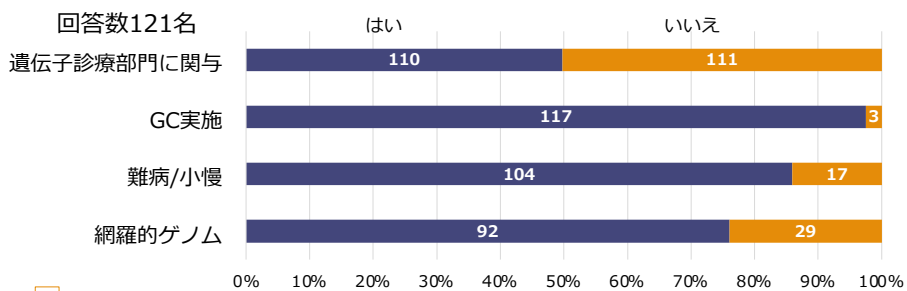
- 352名に送付し、128名より返送（回収率 36.4%）
121名で解析（同意の質問にマーク無し 7名）
- 内訳

臨床遺伝専門医	95名(78.5%)
小児科	38名
産婦人科	24名
内科	20名
臨床検査	3名
外科	2名
整形外科	1名
皮膚科	1名
眼科	1名
耳鼻咽喉科	1名
その他	4名
産婦人科医	1名(0.8%)
認定遺伝カウンセラー	21名(17.4%)
その他	4名(3.3%)

2

遺伝医療/GCとの関わり①

■所属	人数	割合
大学病院	87名	(71.9%)
総合病院	16名	(13.2%)
専門病院	12名	(9.9%)
診療所	3名	(2.5%)
その他	2名	(1.7%)
無回答	1名	(0.8%)

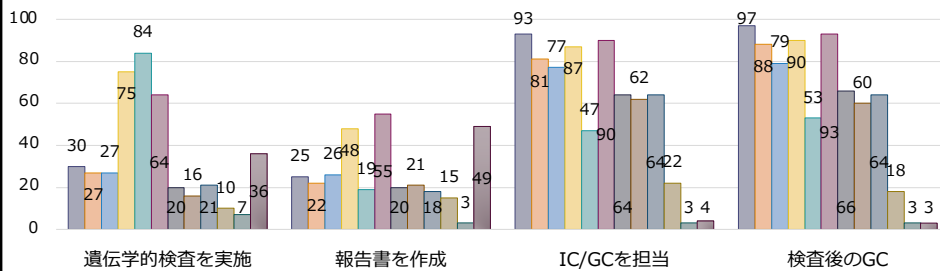


3

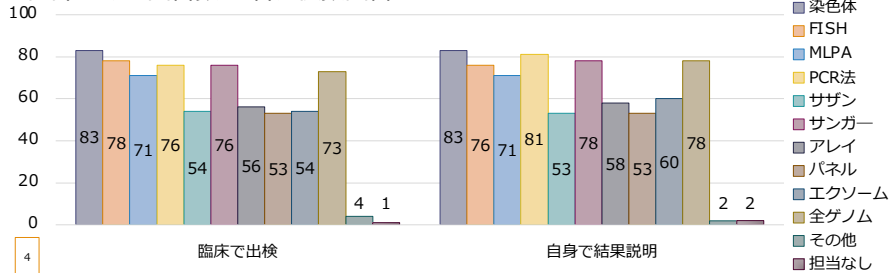
3

遺伝医療/GCとの関わり②

回答数121名、複数回答

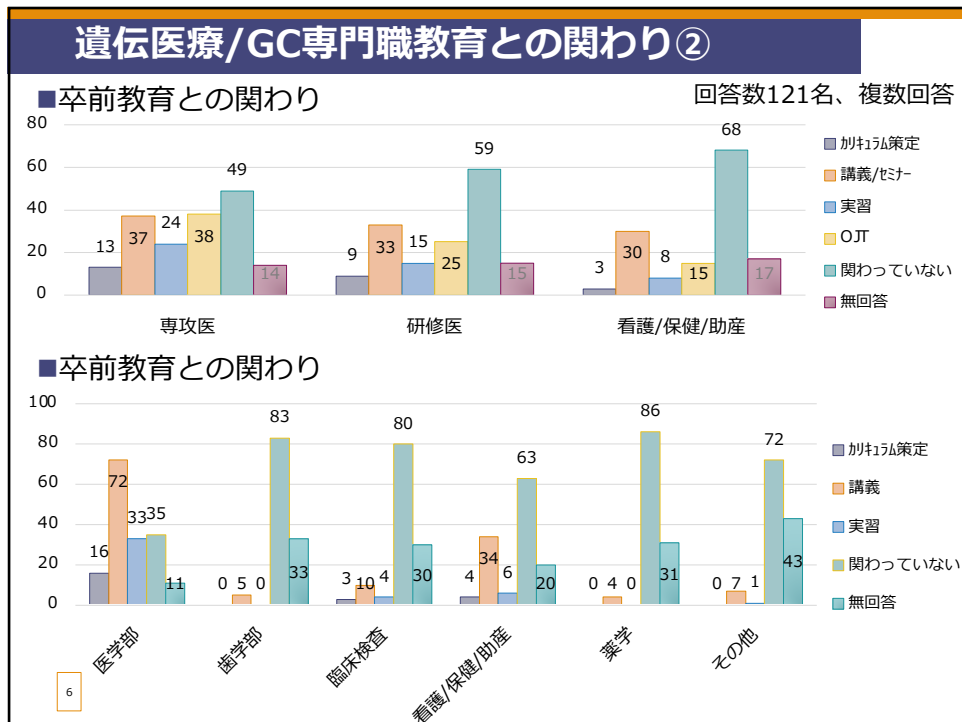
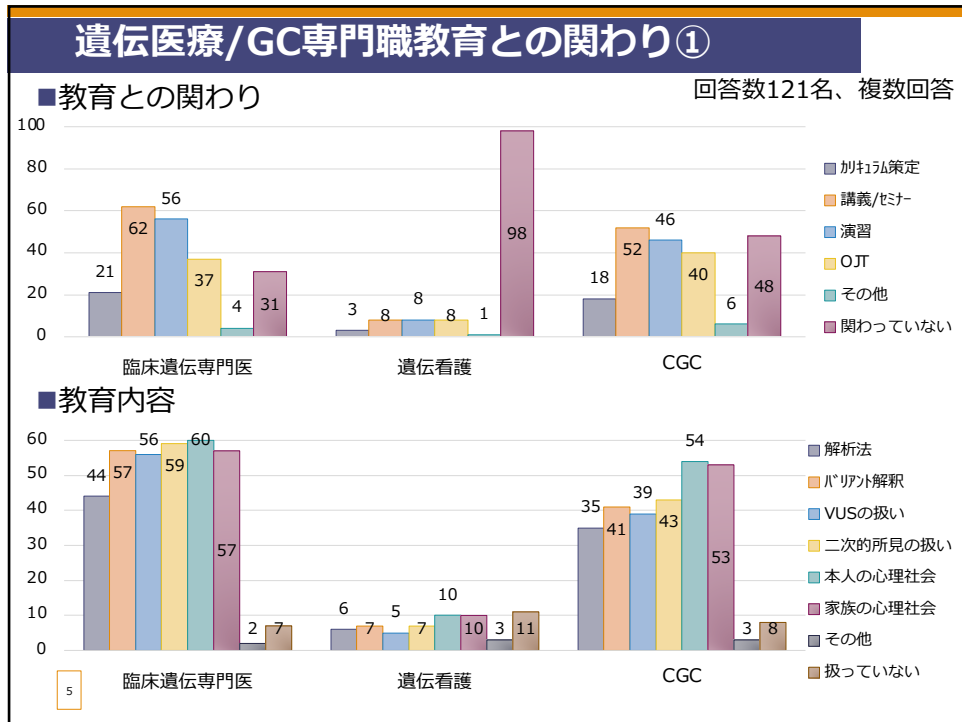


医師のみ 回答数96名、複数回答



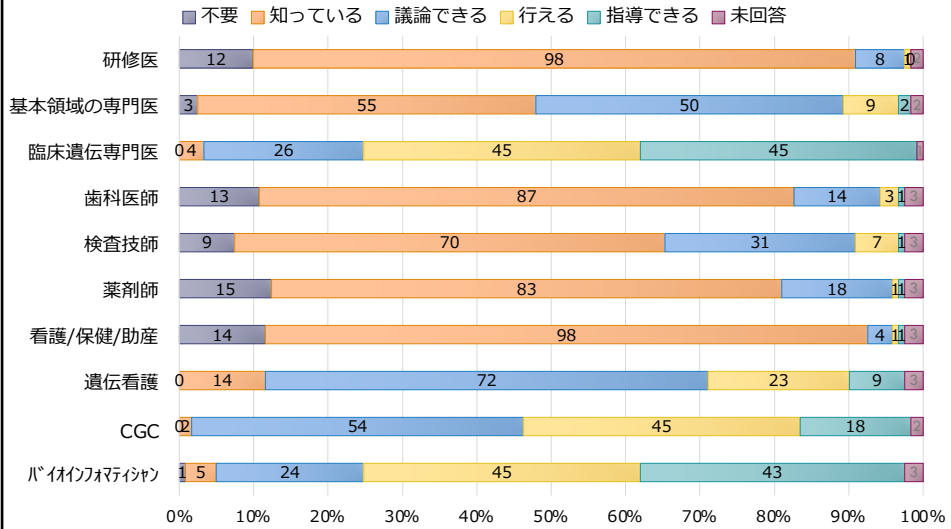
4

4



必要度合い① 回答数121名

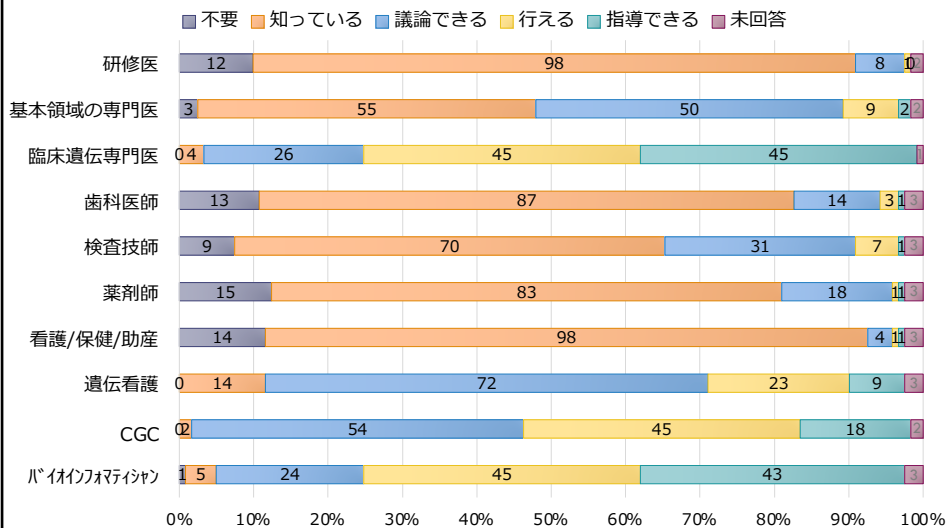
網羅的ゲノム解析で得られたゲノムデータの意義づけをできる



7

必要度合い② 回答数121名

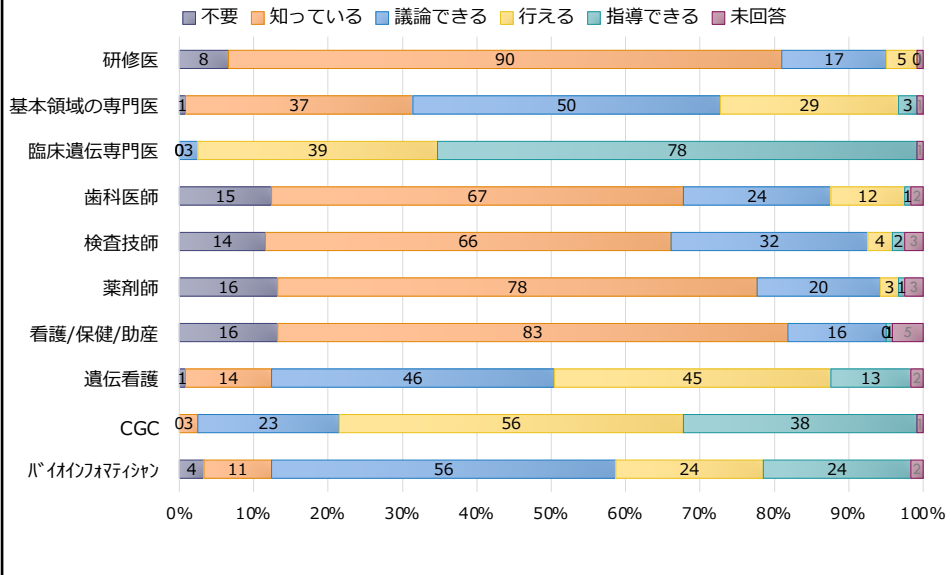
報告されたゲノムバリエントの解釈を各種データベースで再確認できる



8

必要度合い③ 回答数121名

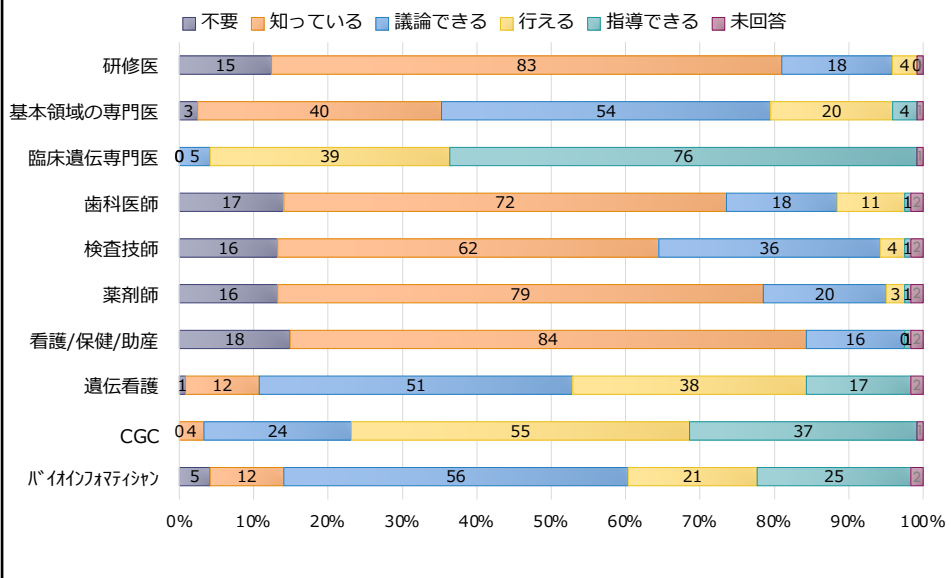
検査で得られた病的/病的の可能性が高いバリエーションの意味について
患者/クライアントに説明できる



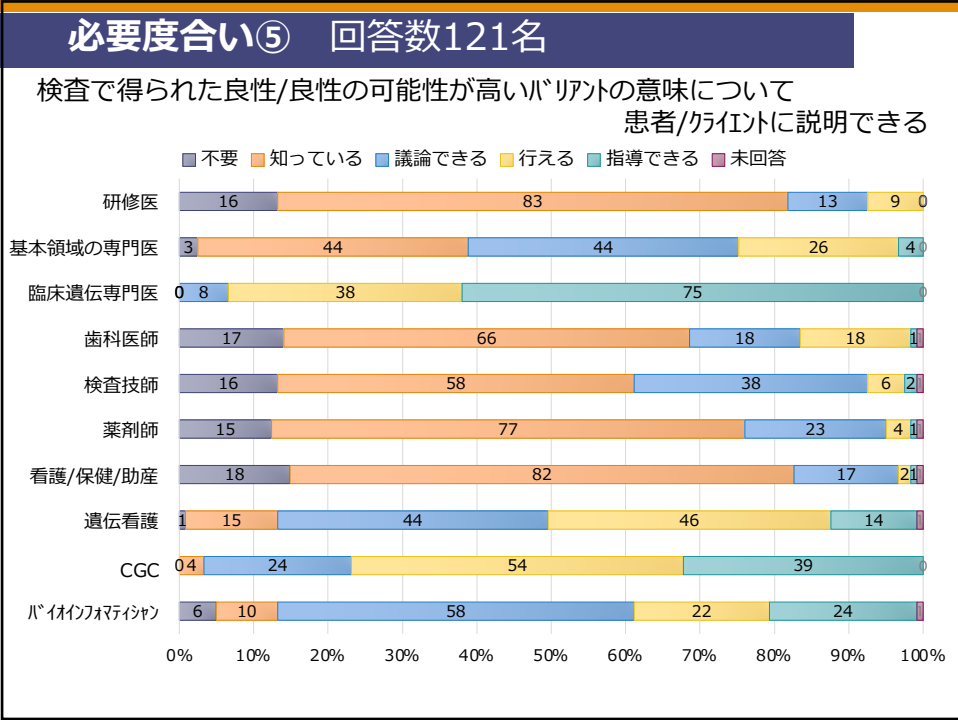
9

必要度合い④ 回答数121名

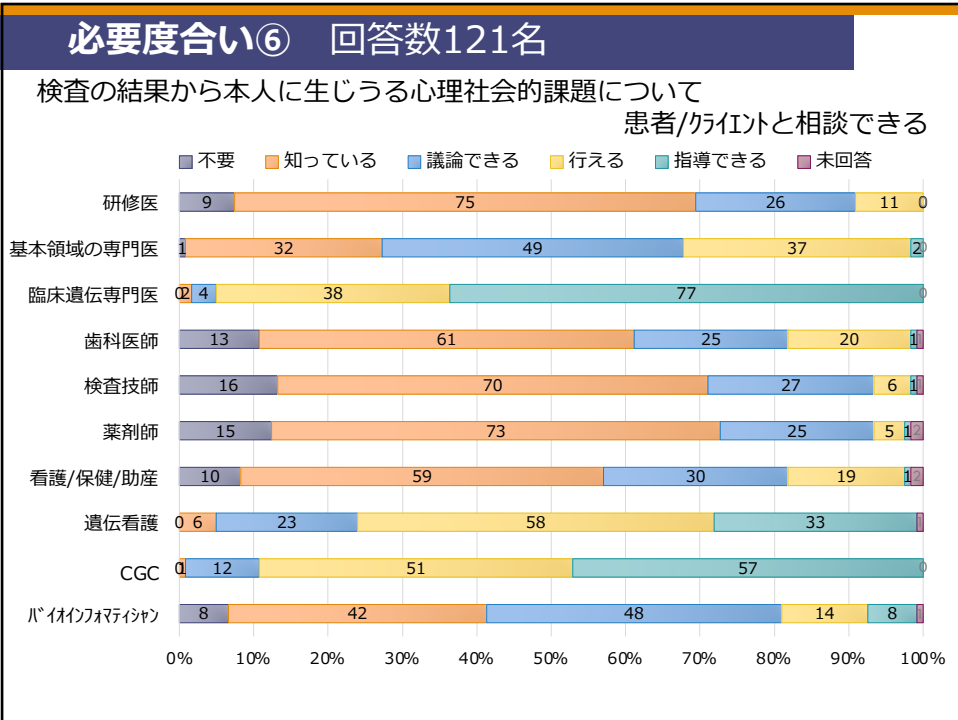
検査で得られた意義不明のバリエーションの意味について患者/クライアントに説明できる



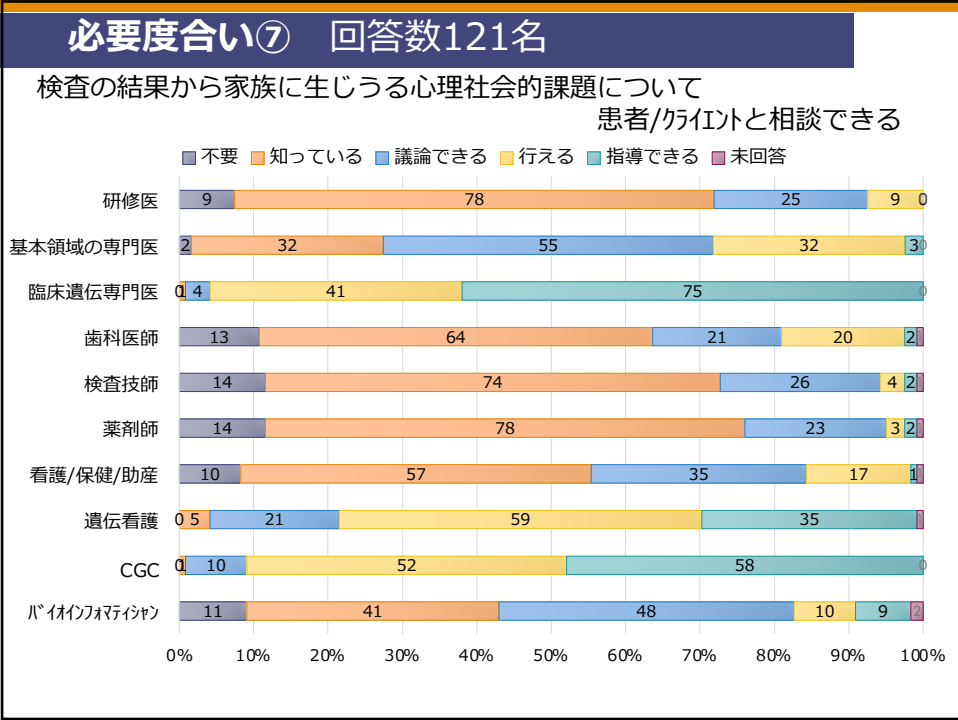
10



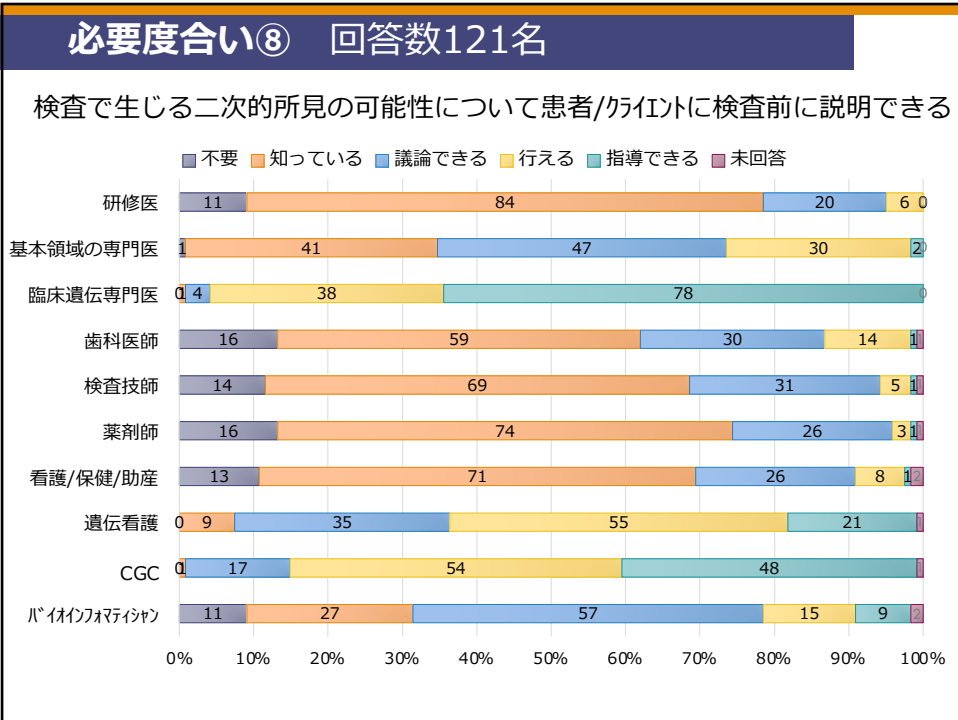
11



12



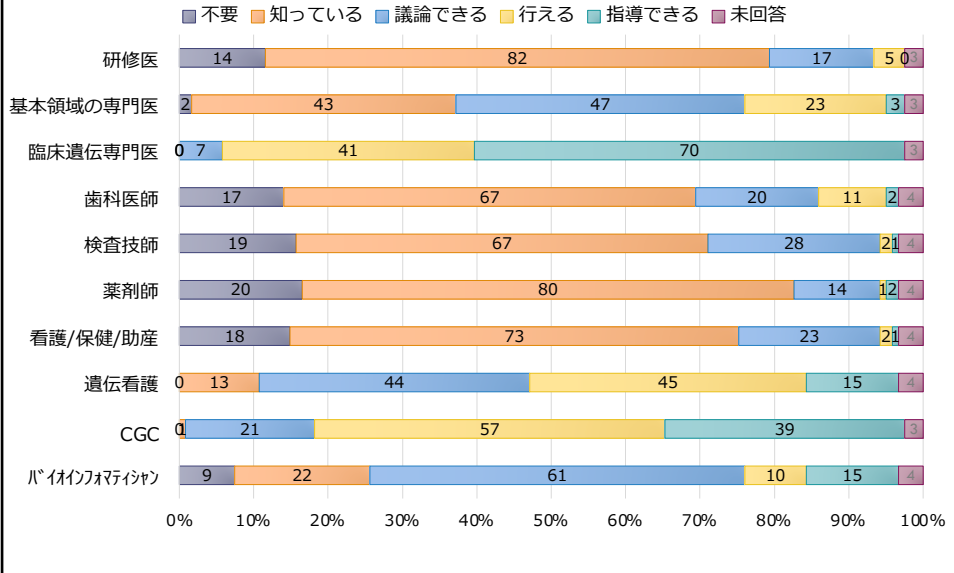
13



14

必要度合い⑨ 回答数121名

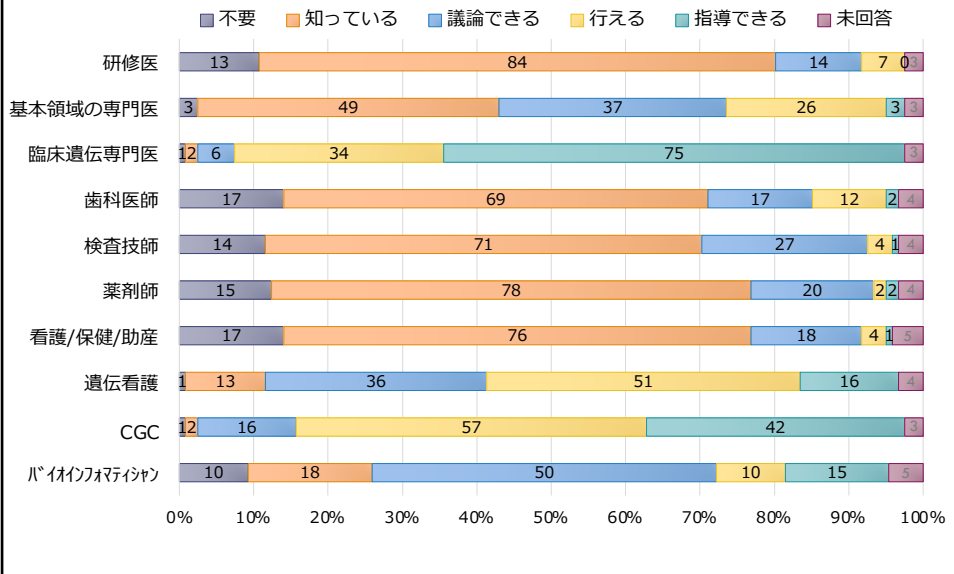
網羅的ゲノム解析で発見された二次的所見について患者/クライアントに説明できる



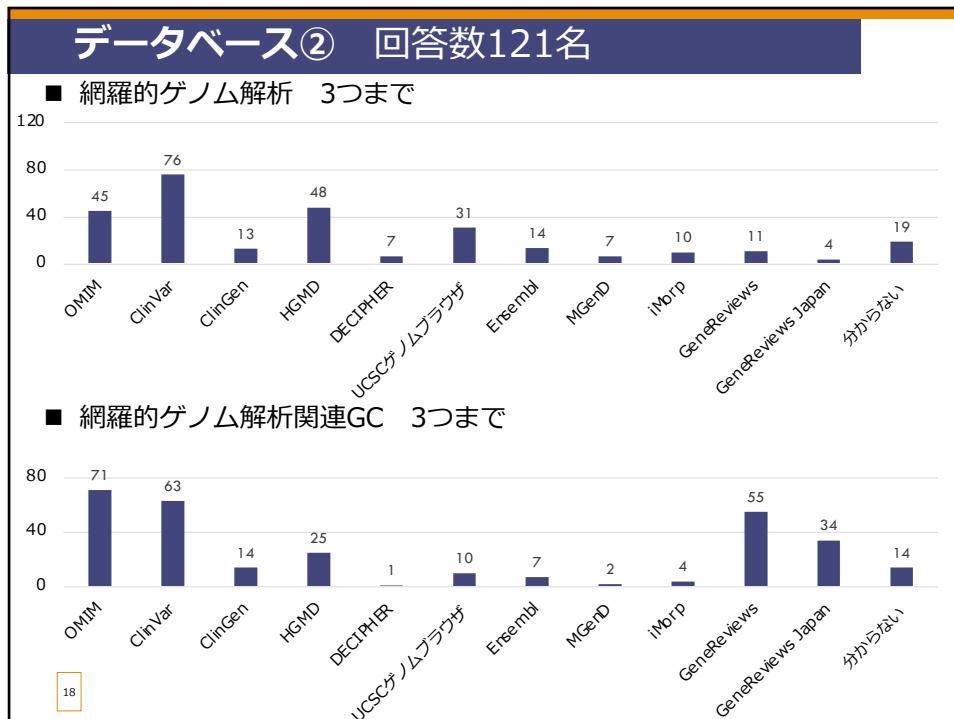
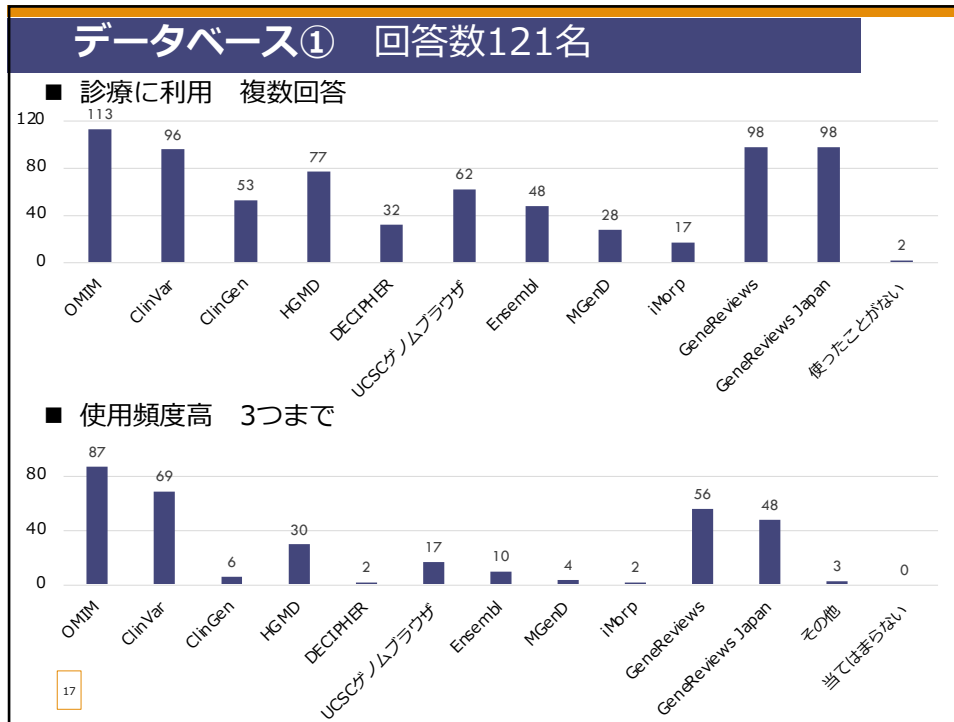
15

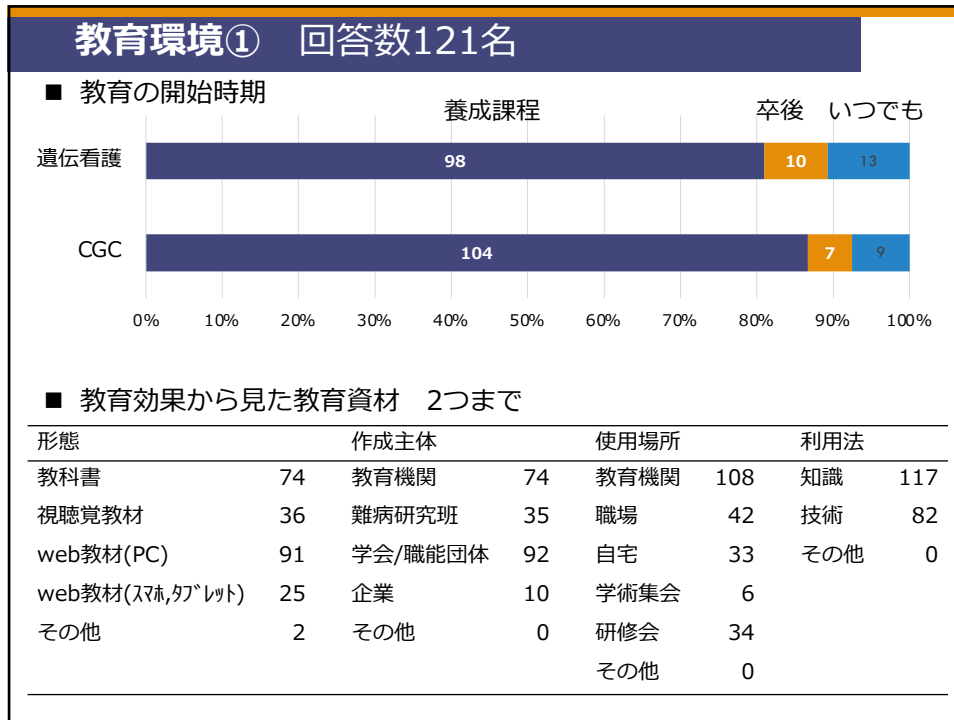
必要度合い⑩ 回答数121名

検査で得られた結果の解釈が変更される可能性について
患者/クライアントに説明できる

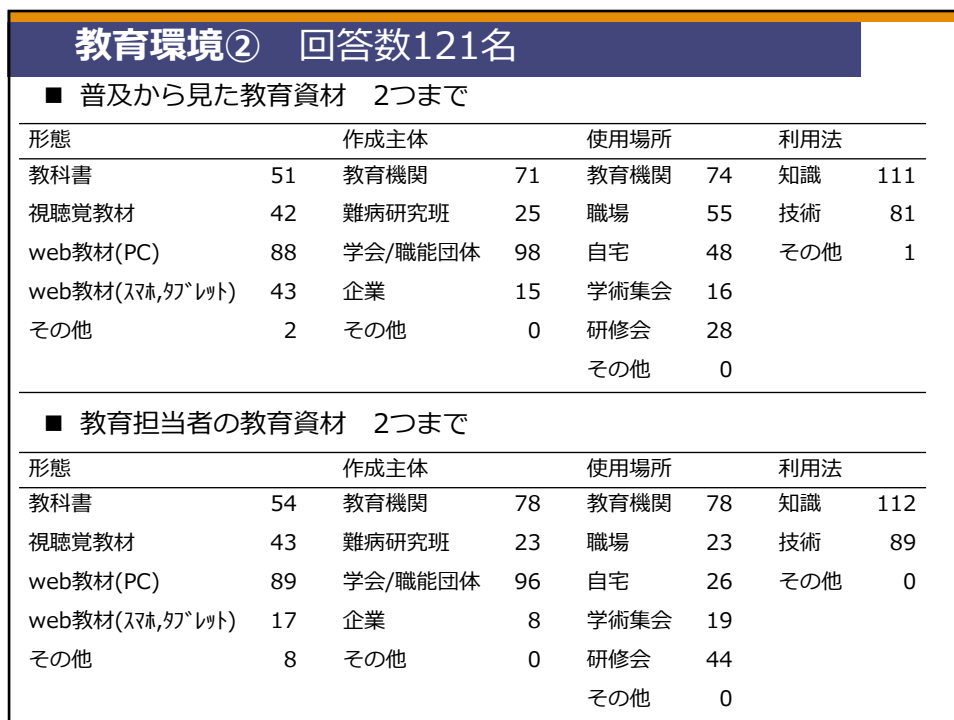


16





19



20